



天下溝

Q 天下溝における
防災対策は。

A 防災対策を念頭においた改修計画を検討しており、県土地改良事務所と協議を重ねた結果、基盤促進整備事業で採択し事業を進める予定である。ただこの事業は、地元の負担が必要となり、地元負担は国・県の補助を除くと市が10%、地元負担が34%となる。

これまで、天下溝については滝野町の高岡地区が整備を行っていた経緯があり現在も滝野町と話し合いを行っているが難航しており、今後関係者とよく協議し慎重に対応していく予定である。



ファブリーダム

ファブリーダム

Q 農家負担軽減のため、ファブリーダムを魚道整備により改修できないのか。

A ファブリーダムは河川の災害復旧事業で昭和51年から河川管理者が施行してきたもので、市内の一番古いもので25年を経過している。

設置当時、耐用年数は30年ということであったが、現在部分補修されている箇所もある。補修については、市単独の土地改良事業として費用の一部を補助している。平成12年度に設置後20年以上経過した市内22箇所ファブリーダムについて調査、診断したところ、早期補修箇所が数箇所見受けられ、いずれは全面改修をしなければならぬ時期がやってくると認識している。改修、補修については、地元からも要望があるが、当該施設は土地改良施設として位置付けられており、農水省の補助事業による改修となり、費用の34%を地元が負担しなければならぬため、農家にとっては大きな負担となっている。市としては農家の負担

軽減のため、補助率のアップ、補助メニューの創設などを国、県へ働きかける予定である。魚道整備については、農家の負担増も考えられ、事業内容等、調査、検討していきたい。



市民参画推進基本計画

Q 市民参画推進計画の具体的な進め方は。

A 市民参画については先般のサイサイまつりや、歴史街道ボランティア、街角花壇、福祉活動のはつらつ委員会、いきいき委員会など多くの市民ボランティアにみられるように緩やかではあるが着実に理解を得、広がりをみせている。

本計画は次の四つのシステム構成が柱となっている。
個人の参画（円卓会議）
グループの参画（加西版NPO）
行政施策への参画（パブリックコメント）
行政と地域住民の連携（市

民市役所(仮)

現在、庁内組織として市長を本部長とする市民参画推進本部、また、課長級を主体とする幹事会を設置しており、市民参画の方針決定等、行政施策として着実に市民参画の推進が行えるような機能をもたせている。すべてのシステムを一齐に具現化するのは困難なため、年次計画を定め実現していく予定である。今年度の重点施策として、パブリックコメント制度の導入、審議会等の委員の公募制、加西版NPOを検討している。また、市民市役所(仮)設置に向けて市民参画推進会議の開催を予定している。



総務委員会

加西のジャンボタニシ

概要 中南米産の巻貝。正式にはスクミリンゴガイ。食用として輸入・養殖されたものが、野生化したものです。

被害 田植直後二〜三週間の水稲の苗、蓮根等を食害します。

生息 加西市内では中野町の一部、網引町西部に生息が確認されています。

対策 自然増殖する心配はあまりありませんが、人為による増殖行為は要注意です。

現在、中野町、網引町の各集落に対し、防除対策のチラシ配布や集会等を行っています。また、九会地区の農会長会等でも対策等PRをしています。



ジャンボタニシと見本のタバコ